

校種・学年・教科等名：宇城市立三角中学校、2年、道徳

実践名：法の精神「かってに使ってだいじょうぶ？」

中学校第2学年 道徳 学習指導案

日時：平成23年9月 日（ ）

場所：三角中学校 第2学年1組教室

授業者：教諭 前川 和宏

1 単元名（主題名・題材名）

法の精神 「かってに使ってだいじょうぶ？」


2 単元（主題・題材）について

(1) ねらいについて

本主題は、普段、何気なく行っていることで、本当は法律に違反している事例を取り上げて、身近にある法を遵守することの意味を考えさせる。社会生活の秩序の維持と規律を守ることによって、一人ひとりの自由が保障されることを理解させたい。社会生活を営む上での最低限のルールを守ることが、思いやりの心をはぐくむ第一歩であり、それぞれの人間の暮らしを豊かにするものであることを学ばせたい。

(2) 児童（生徒）の実態について

本学級は、男子14名、女子17名、計31名の学級である。発表することに抵抗を持っているものの、男女仲はよく何事にも意欲的に取り組む集団である。5月に実施したQ Uテストの結果から、68%の生徒が学級生活に満足している一方で、学級生活不満足群に属している生徒が10%、学級から認められていないと感じている生徒が19%であることがわかった。学級全体としては、生徒同士の人間関係が親和的に形成されていると思われるが、学校生活に目的意識を持ってない、学級集団において上手くコミュニケーションがとれないなどの課題を抱えている生徒もみられる。著作権に関する事前アンケートの結果は以下の通りである。（平成23年9月 日調査）

- ①「著作権」という言葉を知っていますか。
- ②  や「Copyright」のマークを見たことがありますか？
- ③著作権に違反する行為には、どんな行為があると思いますか
- ④なぜ著作権を守る法律があるのでしょうか。

(3) 資料について

資料1：「かってに使ってだいじょうぶ？」（中学校版「明日を生きる2年」日本文教出版）

本資料では、漫画を用いて「コピーした音楽の配信」「許諾なしのホームページ掲載」「キャラクターの盗用」の3つの事例の何が問題だったのかを取り上げている。身近でありながら意識せずに行いがちな違法行為を、わかりやすく表現してある。何気なく行っている行為ばかりである。これらの事例を通して著作権法遵守の意義を改めて理解させ、さらに社会において法やきまりを守ることを考えさせたい。

資料2：「はじめて学ぶ著作権」（文化庁）

http://www.bunka.go.jp/chosakuken/hakase/hajimete_1/index.html

文化庁が作成した著作権法の知識がなくても、著作権がどういうものか理解できることを目標にサイトから、紙芝居風のスライド画像とシナリオを活用し、著作者の心情や、作品の価値の根源である「創造性」について考えさせる。 【はじめて学ぶ著作権】

資料3：「春野家ケータイ物語」（NTT ドコモ、メディア教育開発センター）

また、責任ある発信という観点から、補助資料「春野家ケータイ物語」も利用する。第5話の「責任ある情報発信」ではドラマを通して、ブログを楽しむ主人公の姿を追いながら、情報発信の際には、肖像権や人格権を意識し、個人の権利を大切にしなければならないことや、著作権などの知的財産を意識しなければならないこと等、情報の発信者としての責任について考えさせる。 【春野家ケータイ物語】

（4）指導にあたって

- ア 日常生活で起こりがちな行為だけでなく、現実感を与えるために携帯を使った情報発信の補助資料でイメージをつかませる。
- イ 著作権の内容にはあまり深入せずに、著作権がなぜあるのかを考えさせることを中心に指導する。
- ウ 漫画や再現ドラマを通して、何が問題であったか、どうすればよかったのか等、情報の発信者としての態度も問うていきたい。

（5）情報モラル教育の視点から

- ア 本時は、「モデルカリキュラム」の目標「2 法の理解と遵守」、項目「b4-2：著作権などの知的財産権を尊重する。」との関連を重視して展開する。
- イ 資料（漫画、動画、紙芝居）を使い、日常生活や情報発信の場面と関連づけ、著作物への意識、著作者の権利や肖像権への配慮などの感覚を持たせる。
- ウ 著作権の基本は心の教育であることをふまえ、作成者の考えや想いを尊重し、相手の生活を思いやり、迷惑をかけないことが、法律を守り、お互いの権利や利益を守ることにつながることを押さえたい。

（6）人権教育の視点

- ア 自分の考えを、自信を持って発表できるような支持的風土づくりに努める。
- イ 他の人の意見も尊重しながら、ともに学習しようとする態度を育てる。

3 本時の学習

（1）目 標

社会の秩序と規律を維持するために法やきまりがあることを知り、それらを守る自覚と態度を養う。

(2) 展 開

過程	学習活動と主な発問	児童（生徒）の反応	指導上の留意点と評価	備考
導入 5分	①日常生活を振り返る。 「漫画のキャラクターなどを真似して書いたことありますか？」 ②事前アンケートの調査結果を知る。	<ul style="list-style-type: none"> よくやっていた。 上手に真似できた。 工夫して色や形を変えていた。 本の裏表紙などにもこの記号㊟はついているけど、意味はわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が何気なくやっているキャラクター写しなどの行為の事実を明らかにする。 	広用紙 マーク
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習課題 著作権について考えよう </div>				
展開 40分	③著作権法についての説明を聞く。 ④資料1の3つの漫画を読む。 ア どんなところが問題だったのか、事例ごとに考える。 (ア) 音楽ファイルのコピー (イ) HPのBGM音楽 (ウ) キャラクター改変 ⑤資料2の紙芝居を見て、著作権がある意味を考える。 「著作権はなぜあるのだろう。それはどんな人たちのどのような権利や利益を守っているのだろうか。」	<ul style="list-style-type: none"> 難しいけど、詳しい法律があることがわかった。 コピーした音楽ファイルを大勢に配布するところ。 写真を許諾なしに自分のHPに使ったところ。 キャラクターをちょっと変えて自分のものとしたところ。 すべて著作権法に反している。 作った人の権利を守るため。 作品を守るため。 作った人の泣きたい気持ちはわかる。 もし自分の作品がそうされていたら、嫌だ。 オリジナルにこだわりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 著作権は著作物を制作した人が持つ権利であること。無断で他人に利用されないように保護されていることを押さえる。 問題だと思ふところを見つけた生徒には、「こうすればよかった」と改善点も考えさせる。 机間指導を行い、生徒の意見を引き出していきたい。 「権利」という言葉の裏に、その人の生活や暮らしがあることに気づかせたい。 	スライド 技術科 TT 事例毎の挿絵スライド

	<p>⑥ この他に日常生活で何気なく行っていることで、他人の権利や利益を侵害していることにはどんなものがあるか考える。</p> <p>⑦資料 3 を見て情報発信をする上での問題点を考える。</p> <p>⑧これからどのようなことに気をつけて情報を利用したり、情報発信をすればよいか考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海賊版とはどういうものだろう。 ・pc やネットを使うと色々な事が起こる。 ・携帯を使ったブログやプロフ等で何かありそう。 ・個人情報を出すのはよくない。 ・キャラクターを勝手に出すのはよくない。 ・ネットはすぐ情報が広がる。 ・著作権を守って情報発信していきたい。 ・肖像権にも配慮していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料を一人一冊ずつ配付する。 <p>【社団法人著作権情報センター無償パンフレット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題だと思ふところを見つけた生徒には、「こうすればよかった」と改善点も考えさせる。 ・肖像権についても説明する。 ・相手の生活を思いやり、迷惑をかけないことが、法律をまもり、お互いの権利や利益を守ることに繋がっていることを説明する。 	
<p>終末 5分</p>	<p>⑨今日学習したことを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法律がなぜあるかが、わかった。 ・何気なくやっていることに著作権を侵害する行為があったことがわかった。 ・法律を守ることが自分の権利を守ることにつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入を促す。 ・著作権の基本は法律ではなく、自分だけでなく周りにいる人の気持ちを考え行動するという心の教育が、その裏にあることを押さえる。 	

6 全体計画

(モデルカリキュラムを参考に作成) ※市町村立小中学校のみ

情報モラル（中目標）	道徳、各教科・特別活動 他
a4-1：情報社会における自分の責任や義務について考え行動する。	技術 情報とわたしたちの生活「電子メールを連絡に活用しよう」 ・電子メールを送信するときの留意点まとめる。
b4-1：個人の権利・人格権・肖像権などを尊重する。	技術 情報とわたしたちの生活「情報伝達の安全性とマナーを考えよう」 ・安全に興味を持ち適切な情報処理を考えることができる。 【顔写真扱い方（人格、肖像権）】
b4-2：著作権などの知的財産権を尊重する。	技術 情報とわたしたちの生活「情報と私たちの生活」 ・情報のディジタル化と著作権について考える。 道徳：法の精神「かつてに使って大丈夫」 ・社会の秩序と規律（本時）
c4-1：違法な行為とは何かを知り違法だとわかった行動は絶対に行わない。 c4-2：情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る。 c4-3：契約の基本的な考え方を知りそれに伴う責任を理解する。	技術 情報とわたしたちの生活「情報伝達の安全性とマナーを考えよう」 ・コンピュータ犯罪の深刻さを理解する。 道徳 社会の秩序「規則があなたを守る」きまりを守る「許さない心」 ・法ときまりの遵守 社会「社会の発展と新しい人権」 ・知る権利とプライバシーの権利との関連を考える。 家庭 わたしたちの消費と環境「消費者としての自覚をもとう」 ・悪質な商法の種類やトラブルについて理解し、契約の意味を知る。
d4-2：トラブルに遭遇したとき主体的に解決を図る方法を知る。	技術 情報とわたしたちの生活「情報伝達の安全性とマナーを考えよう」 ・安全に興味を持ち適切な情報処理を考えることができる。
e4-1：情報の信頼性を吟味できる。 e4-2：自他の情報の安全な取り扱いに関して正しい知識を持って行動できる。	技術 情報とわたしたちの生活「インターネットで情報を収集しよう」（情報の信憑性） ・インターネットによる情報収集の方法について理解する。 【関連】総合「その情報 本当に信用していいの？」 ～謝った情報、うその情報を広げないための4つのポイント～ ・いろいろな情報を伝達する手段の特徴や利点について調べ、比較し、情報発信の際の留意点を考える。 技術 情報とわたしたちの生活「情報伝達の安全性とマナーを考えよう」 ・ユーザーID やパスワードの設定の仕方についてまとめる。 【関連】「情報と私たちの責任」・ユーザーID とパスワード

	の役割を考える。
f4-1：健康の面に配慮した情報メディアとの関わり方を意識し行動できる。 f 4-2：自他の安全面に配慮した情報メディアとの関わり方を意識し行動できる。	<p>道徳 望ましい生活習慣「自分を変えてみませんか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分の生活を振り返る。 <p>技術 情報とわたしたちの生活「電子メールを連絡に活用しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子メールを送信するときの留意点まとめる。
g4-1：情報セキュリティの基礎的な知識を身につける。	<p>社会 情報とわたしたちの生活「情報伝達の安全性とマナーを考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に興味を持ち適切な情報処理を考えることができる。【顔写真扱い方（人格、肖像権）】
h4-1：基礎的なセキュリティ対策が立てられる。	<p>技術 情報とわたしたちの生活「情報と私たちの生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報のディジタル化と著作権について考える。
i 4-1：ネットワークの公共性を意識して行動する。	<p>技術 情報とわたしたちの生活「情報伝達の安全性とマナーを考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に興味を持ち適切な情報処理を考えることができる。